

機械器具 74 医薬品注入器

一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジーオーバッグ

(ISO 80369-3)

再使用禁止

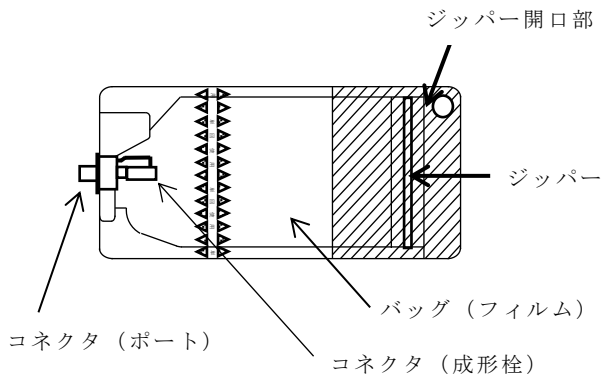
【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

(形状・構造)

- ・本品は、バッグ（フィルム）、ジッパー、ISO 80369-3に適合したコネクタ（ポート、成形栓）からなる。
- ・本品は未滅菌である。



※斜線部は裏面が白く塗ってある。表面は透明である。
表面の「△」は白く塗ってある。

(材質)

- ・バッグ（フィルム）：ポリエチレン、ポリアミド-6、二酸化珪素
- ・インク：酢酸エチル、酸化チタン、イソプロピルアルコール、合成樹脂、酢酸プロピル、シリカ（非晶質）、顔料、プロピレングリコールモノメチルエーテル、n-プロピルアルコール、補助剤、酸化亜鉛
- ・コネクタ（ポート）：ポリエチレン
- ・コネクタ（成形栓）：ポリエチレン
- ・ジッパー：エチレンαオレフィンコポリマー、ポリエチレン、その他添加剤

【使用目的又は効果】

(使用目的)

- ・本品は、胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤を投与する器具である。（内服液剤投与など、注射以外の液剤投与に使用できる。）

【使用方法等】

1. 本品を包装から取り出す。
2. ジッパーを開き、バッグ内に薬剤及びお湯等を投入する。

3. ジッパーを完全に閉じ、カテーテル等と確実に接続する。（薬剤が完全に溶けていることを確認してからカテーテル等と接続する。）
4. コネクタとチューブが真っ直ぐな状態で、バッグ内のコネクタ（成形栓）を折って開栓して投与する。
5. 投与後、ジッパーを開けてお湯を注ぎ、経管チューブに残った薬液をすべて体内に入れる。

(使用方法に関連する使用上の注意)

- ・本品は、ISO 80369-3に適合した製品である。ISO 80369-3に適合する製品と接続すること。

【使用上の注意】

(重要な基本的注意)

1. 使用中は本品の破損、接続部との緩み、液漏れ等について、定期的に確認すること。
2. 接続されていない状態で開栓しないこと。[先端より液漏れ等の恐れがある。]
3. 高温（70℃超過）のお湯は入れないこと。[火傷の恐れがある。]
4. 本品を先のとがった物で傷つけないこと。[破損が生じ、液漏れ等の恐れがある。]
5. 充填したバッグの長時間放置や電子レンジで加熱をしないこと。
6. 本品に衝撃を与えないこと。[破損が生じ、液漏れ等の恐れがある。]
7. ジッパーが完全に閉じていることを確認すること。[不完全な閉まり方をしている場合、液漏れ等の恐れがある。]
8. バッグ内の固形物が溶解していることを確認すること。[チューブが詰まる恐れがある。]
9. コネクタを接続する際は、過度な締め付けをしないこと。[コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部からの液漏れ等の恐れがある。]
10. お湯等は、バッグ上部の白い線以上に入れられないこと。
11. ジッパー開口部が上向きになるように使用すること。[液漏れ等の恐れがある。]
12. 薬剤の溶け残りを指等で外側から押しつぶす際は、力を入れ過ぎないこと。[液漏れ等の恐れがある。]

【保管方法及び有効期間等】

(保管方法)

- ・直射日光及び火気、水濡れを避け、湿気の少ない清潔な場所に保管すること。
- ・紫外線や放射線（エックス線等）、熱、化学薬品の保管場所やガス等の発生する機器や場所を避けて保管すること。

(有効期間)

- ・包装に記載。【自己認証（自社データ）による】

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売業者]

株式会社長谷川綿行

〒481-0013 愛知県北名古屋市中子四反地 977-2

問い合わせ窓口 (TEL)0568-24-1911